

私の成長、きっとだれかのために。

- 
- 01 学長メッセージ
 - 02-04 学科 MESSAGE
 - 05 ゼミ探訪 vol.4
 - 06 CLUB
 - 07-08 部局 MESSAGE
 - 09 NEWS
 - 10 学内施設紹介
 - 11 新任教員紹介
 - 後援会事業のご案内
 - 学園へのご寄付・ご支援について
 - 年間スケジュール

「何でもやってみよう」
の気持ちで、
自分の未来を
広げていこう。



令和元年5月
千里金蘭大学学長
島崎 靖久

新入生の皆さん、千里金蘭大学入学おめでとうございます。千里金蘭大学は、皆さんの入学を心より歓迎し、お祝いしますと共に、皆さんを精一杯支援してまいります。

在学生の皆さんには、これからの毎日を成長への挑戦の日々として、「何でもやってみよう」の気持ちで過ごしていただきたいと思います。大学は、社会に出るための準備期間でもあります。もっと大切なのは、これまでとは違う自分になることを目指し、自信と勇気を持つことに努めることです。大学生活を通して、生まれ変わった自分になれるよう、自分で自分を作り上げる毎日にして欲しいと願っています。

より積極的に前向きに、やってみようという気持ちで生きることによって、皆さん一人ひとりの可能性が大きく広がり、個人が変わると信じています。皆さんは、皆さん自身がどの程度の能力を持っているか本当に知っているでしょうか？その人の評価は、これまでの結果だけからしか判断されていないと思います。しかし、その評価は正しいのでしょうか。皆さんには、これまでに発揮していない、自分でも想像できない能力があることを知らないのではないのでしょうか？挑戦をして、努力をすれば、皆さんの持つ能力が高まると共に、これまで気がつかなかった能力が現れてくるのです。

千里金蘭大学では学生一人ひとりが「自ら学び、自ら考え、自ら育つ」をモットーとして、教育に取り組んでいます。自立した女性となるために、自分で考え、判断し、自分の考えを発展させようと自分を仕向けてみようではありませんか。いろいろ自分を試してみましょ。新入生の皆さんは、まずは、慣れることが大切です。新しい環境に慣れると自分がそれまでの自分とは変わったと気がつくでしょう。

困ったことがあれば、相談することです。カウンセラーもいますし、教職員が一緒になって、皆さんを支えます。どんな事でも気軽に、そして、早く相談してください。

それから、自分の時間をコントロールすることが大切です。友人たちとの無駄と思える時間も本当は大切です。それと、本を読む習慣を作ってください。本は、沢山のことを教えてくれますし、あなたの心に寄り添ってくれます。そして、あなたが何も知らないということも教えてくれます。何も知らないということを知れば、あなたはきっと謙虚な女性になるでしょう。謙虚であることは、あなたを大きな過ちから救ってくれると思います。そして、あなたの心を落ち着かせてくれるでしょう。

最後に、4年間で生涯の友人を作りましょ。一生、あなたの心の支えとなってくれるでしょう。

千里金蘭大学後援会からのご挨拶

新入生の皆さん、そして保護者の皆さま、千里金蘭大学へのご入学、まことにありがとうございます。また、在学生の保護者の皆さまには、日ごろより後援会活動へのご理解とご協力をいただき、心より御礼申し上げます。

千里金蘭大学後援会は、保護者により組織されており、学生への支援を中心に活動しております。具体的には、教育内容の強化、課外活動の充実、学生生活の環境整備などに向け、大学経営の財政的基盤の充実を保護者同士で支え合うことを主な役割としています。昨年度末には、大学の開学15年を記念し、特別事業としてお認めいただいていた3号館1・2階のスペース更新を行いました。特にリニューアルした1階は、在学生や地域の方、受験生の方にとっても、新しい環境

として親しみを感じていただければと思っています。

さて、千里金蘭大学後援会は今年で設立5年目を迎えます。今年度も、新入生の全ての保護者さまにご入会をいただくことができ、感謝申し上げます。

私たち保護者自身がこれまでに培った知見や情報、さまざまナリソースを通じて、ますます事業の充実を図りたいと考えております。

保護者の皆さまには、後援会活動にぜひご賛同いただくとともに、積極的にご参加いただき、ともによき千里金蘭大学づくりを目指していただきたいと存じます。

これからも、ご支援・ご協力をいただきますよう、よろしくお願いいたします。

<http://www.kinran.ac.jp/kouenkai/>

本学ホームページに後援会ページを開設しておりますので、ぜひご覧ください。

令和元年5月
千里金蘭大学 後援会会長
溝端 由之

食物栄養学科

学科長メッセージ



大学生活「初めの一步」講座(1年生)

新たな環境に
幅広くふれあい、
コミュニケーション力を
身につけよう。

新入生の皆さん、保護者の皆さま、ご入学おめでとうございます。

在校生の保護者の皆さまにおかれましては、日頃の学修への支援に感謝すると共に、ご息女の今後の更なる成長に向けて引き続きご協力お願い申し上げます。

新入生や保護者の皆さまは、新しい門出を迎えるにあたって、大きな希望と期待を抱くと同時に、同じくらい大きな不安を感じているかもしれません。不安を克服する一助として、社会との関わりが指摘されています。在学中には同級生や先輩、後輩、教職員だけでなく、地域の人々と交流する機会もあります。ボランティア体験や学外活動などを通じて新しい世界・考え方に触れることは、皆さんをきっと大きく成長させることでしょう。

千里金蘭大学食物栄養学科の学生みんなが、一人で悩むことなく、友人や教員と共に学び、成長していく、そのような大学生活を送れることを期待しています。

食物栄養学科長
石川 秀明

学生の活動実績

01 第29回ヤンマー学生懸賞論文にて優秀賞を受賞



武智ゼミのゼミ生が、卒業研究でグルテンフリーの米粉パンを作る研究を行い、第29回ヤンマー学生懸賞論文にて優秀賞を受賞しました。米粉の利用が拡大しないことに対して課題を明らかにし、米粉に対する消費者の関心度を把握するために行ったアンケートの分析結果から、米粉の利用拡大のために自分たちができることは何かを探求し、提言を行いました。

02 第2回能勢町 アイディアメニューコンテストで優秀賞を受賞



応募数142作品の中から、本学の学生チームが考案した「マグカップオムライス」が優秀賞を受賞しました。栄養バランスがよいことに加え、電子レンジで簡単に作ることができ、洗い物が少ないというメリットもあります。このコンテストは、住民の食に対する意識の向上や地産地消の推進、能勢町の新たな食文化の創造などを目的として、実施されています。

03 吹田くわい料理教室を開催



2018年12月9日(日)に市民の皆さま、吹田市、大阪ガス株式会社と本学生生活科学部食物栄養学科の教員・学生による吹田くわい料理教室を開催しました。「スコッチくわい」と「くわいブラウニー」は本学の学生が考案したメニューで、くわいにはアク抜きが必要ですが、電子レンジでできる調理条件を学生が考案しました。

学科の願い

「食」を通じて人を笑顔にし、
社会に貢献したい。

【キラリ★サポーター】



キラリ★サポーター

家族や親しい人達との楽しい食卓、病気の時に元気を与えてくれる食事、子どもの成長を考えた給食など。「おいしい」の笑顔の裏には、「食」に対する繊細な心づかいと、確かな知識と技術があることはあまり知られていないのではないのでしょうか。生活習慣病の増加、超高齢社会など、健康に対するさまざまな課題を抱える日本では、食事指導や栄養教育、食育などの「正しい食と栄養の知識」をもった、みんなによりそう管理栄養士の役割が一層重要となっています。千里金蘭大学食物栄養学科では、「食」を通じて人を笑顔にしたい、社会に貢献したいと願う管理栄養士、「キラリ★サポーター」を育てます。

児童教育学科

学科長メッセージ



学生が制作したケーキをパクリ!

子どもと共に
学ぶ日々。

ご入学、ご進級おめでとうございます。大学生生活が幸せに満ちた、実り多き日々となるよう教職員一同心を込めて支援していきます。

大学では保育・教育に関する知識・技能を体系的に身につけていきますが、それを実際に生かせる力にすることが必要です。普段から、子どもだけでなく、さまざまな人々を支援し、問題を解決しようと行動する中で、本来の意味での実力が形成されていきます。学んだことが生きて働く力になるようないろいろな場面での思慮深く積極的な活動を期待したいと思います。

1年次から乳幼児や小学生に関わる「金蘭おやこクラブ」や「子ども地域活動」に始まり、各種ゼミ、「子どものひろば」(大学祭)、子育てひろばOh!キッズ(写真)、金蘭会保育園との交流、子どもインターンシップ、保育実習・教育実習などさまざまなアクティブラーニングの機会があります。その他、ロンдон前田学園幼稚園での研修、吹田市との共同開催のミュージカル出演、障がい児施設での交流など、多様な体験型学習の機会も選択できます。

子どもと共に学び、多様性を大事にできる寛容性と多様な子どもたちの可能性を引き出す力を培っていきます。

児童教育学科長
早田 由美子

学生の活動実績

01 小学校でかけ算教室を開催



11月から12月にかけて、木曜日の昼休みに吹田市立藤白台小学校で2年生を対象とした「かけ算教室」を教育ゼミの学生が開催しました。かけ算教室は、一人ひとりの努力の成果をうけとめて、学びを応援する部屋です。意欲を引き出す工夫など学生にとって気づきも多く、子どもたちのうれしそうな表情に手応えを感じる取り組みになりました。

02 千里キャンドルロードに参加



2018年10月27日に千里北公園で行われた、千里キャンドルロードに参加しました。吹田市立藤白台小学校の皆さんと取り組んだ「お絵描きコップ」の数は833個となり、今年の参加校の中では最大の数を提供しました。当日は、キャンドルに火を灯すボランティアとしても参加し、地域のイベントに協力しました。

03 親子ふれあい広場に参加



2018年10月に豊中市立千里公民館で行われた「親子ふれあい広場」に保育ゼミの3年生が参加しました。手作りのペーパースーツやペットボトルを利用したボーリング遊び、新聞紙遊びなどを通して、地域の皆さんとの交流と自らの学びを深めました。

学科の願い

子ども一人ひとりと向き合い、
子どもの可能性を引きだします。

【きらり★先生】



きらり・先生

子ども支援のスペシャリスト育成を目指す千里金蘭大学児童教育学科では、早期からの現場体験を重視、「金蘭おやこクラブ」や「子どもインターンシップ」など、親子とふれあえるカリキュラムが充実しています。高いスキルを持った先生になることに留まらず、子ども一人ひとりと向き合い、理解し、可能性を引き出す。子どもたちのきらりと光る瞬間を支える「きらり・先生」を育てます。

看護学科

学科長メッセージ



新入生歓迎会の様子

対象者に
よりそえる
看護者を目指して。

新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。また、保護者の皆さまには心からお祝い申し上げます。本学での4年間で実り多い充実したものとなり、対象者によりそえる優しい看護者となられることを期待しています。

少子高齢化が進む日本の社会において、看護職の活躍の場は拡大し多様化してきています。看護学科では、「ココロかんど」をテーマに、学内と臨床現場との橋渡しとして、模擬患者（SP）養成講座・教育ボランティアを導入しています。講義・実習では学習者の主体的な学習を推進するプロジェクト学習を実践しています。また、看護師以外に保健師あるいは助産師の資格を取得することもできます。学年間交流クラス担任制を導入し2年目を迎え、支援体制の充実を図っております。教職員一同、心を込めて支援していきます。

看護学科長
田中 恵子

学生の活動実績

01 住友病院のクリスマスコンサートに参加



2018年12月11日に開催された住友病院内でのクリスマスコンサートに参加しました。このコンサートは、住友病院内で患者さまやご家族の方を対象として開催され、学生はサンタ帽を被り、合唱を3曲披露しました。患者さまやご家族の皆さまのなかには、感動して涙される方もおられました。

02 子ども食堂への参加



2018年6月22日（金）、7月27日（金）に枚方市内で定期的に行われている子ども食堂に参加しました。学生ボランティアは子どもたちに少しでも笑顔が戻るようにと食事や遊びの時間を一緒に過ごしたり、子ども食堂を支えているNPO法人の方から地域の子どもの実情をうかがったりしました。

03 助産教育課程の学生活動



2018年4月は奈良学園大学で開催された近畿地区助産師学生交流会、6月と12月は大阪母性衛生会に参加し、先輩方の研究発表を聞く機会を持ちました。7月は学内の臨床助産学セミナーで、外部講師より実践に繋げた貴重な講義を聴きました。写真は3年生・4年生の助産学生が参加した骨盤エクササイズの際の記念撮影です。皆、楽しく学習しています。

学科の願い

人として、女性として
ココロを感じられるように。

【ココロかんど】



プロの看護師に求められるものは、知識や技術だけではありません。何よりもまず、どんな患者さまのココロにも寄り添えること。私たちは、その力を「ココロかんど」と名付けました。千里金蘭大学看護学部では、4年間を通して「ココロかんど」のできる人を育てます。資格のためだけではなく、看護師である前に、人として、女性として、ココロを感じられるように。「あなたがいないと困るから。」と言われる女性を育てることが私たちの願いです。



幸林 友男
教授

食物栄養学科

公衆栄養学ゼミ

地域住民の健康増進・疾病予防を 食生活の観点から考える。

公衆栄養学とは、人間集団(主に地域の皆さま)を対象にして、食生活の観点から、健康増進や疾病予防のための活動を行い、対象集団さらには国民全体の健康増進に寄与することを目的とした学問です。また、地域や職域などの健康・栄養問題とそれを取り巻く自然、社会、経済、文化的要因に関する情報を収集・分析し、それらを総合的に評価・判定する能力を養うことが求められます。

ゼミでの研究テーマとしては、以前は「若い女性の肥満に対する認識調査」「保育園児の親の職業の有無による幼児の食生活への影響」「大学生アスリートの食意識の違いによる競技力の差」といった研究を行ないました。その調査やデータの集計によって、研究のあり方を学び、発想力、思考力、発表力などを身につけることが出来るように心がけています。

昨年度は8名のゼミ生が2グループに別れて、「吹田くわいの認知度調査」を行い、普及の足がかりを作ることに挑戦しました。ほかには「若い女性の貧血に対する知識向上」を目指し、高校生を対象に授業やリーフレット配布で、知識の向上や貧血の予防に対し、どのようなアプローチをすれば効果的かを研究しました。

今年度も8名のゼミ生が集まりました。これからそれぞれやりたいことを話し合って研究テーマを決めていきます。

研究以外にも、例年国家試験対策の勉強会を週に1回程度行い、お互いに得意な分野を教えあったりして、みんなで実力の向上を図っています。大学祭では、模擬店を出展し、買出しから下準備、調理、販売まで協力し合って取り組んでいます。それで得た利益で、年末の卒業研究発表会の打ち上げや卒業時のお別れ会をしています。



研究室



エキスポシティでポスター展示



大学祭



卒業研究発表会

ゼミ生メッセージ

食物栄養学科を選択したきっかけは、食を通しておいしさと幸せを提供したいと思ったからです。栄養バランスのとれた献立を作り、それを通じて多くの人々に感動と笑顔を提供したいと思っています。また、栄養教諭免許所得に向けた教育実習のための資料や教材が整っており、国家試験対策もしっかりしていることが千里金蘭大学の魅力の1つです。幸林ゼミでの活動を通して、食を健康と結びつけ、今の日本における食の環境をしっかりと理解した上で、食についての知識を深め、ゼミのみなさまさまざまな施策について考えていけたらと思っています。

4年生 魚田 侑伽さん

食べることが好きで、食と健康に対して興味や関心を持っていたため食物栄養学科に進学しました。授業で学んだ知識を生かし、将来は、食を通して人々の健康づくりに携わりたいと考えています。幸林ゼミを選択したきっかけは、食環境と健康の関わりについて調べたいと思ったからです。また、国家試験の対策が充実していること、アットホームなゼミ室だと感じたこともこのゼミに入ろうと決めた理由です。1年間の研究を通じて、データのまとめ方や論文の書き方を習得し、他の人に分かりやすく伝える力を養いたいと思っています。

4年生 森 泉さん



ケント先生を囲んで

your own choice

私たちEnglishClubは、現在、ケント先生を含めた13名で月に2回程活動しています。部員の予定が合うお昼休みにケント先生の部屋で約40分間楽しく英語でお話しています。「春休みの予定」や「好きな料理」といったテーマを決め、そのテーマについてトークしています。また、クリスマスパーティーなど年に1~2回イベントも行い、アットホームな雰囲気です。学科不問なので他学科の部員との関わりもあり、友達の輪も広がっています。



クリスマス会での装飾

English Club New Direction



活動の様子

教養教育センター

女性としての人生を豊かに送るための発想を学びます

教養教育センター長
寺口 瑞生

今年度から、新しく1年次必修科目「女性のライフサイエンス(1単位、全8回)」が始まりました。3学科の教員が栄養学・教育学・看護学というそれぞれの専門的視点から、女性のライフステージ毎の課題をわかりやすく解説し、それを通じて女性の生き方・働き方を自分自身でデザインする発想を学びます。働き方改革が声高に叫ばれていますが、働くことだけでは自分の人生を、ワーク・ライフ・バランスの考え方を用いて、豊かにイメージしていただきたいものです。



授業の様子

地域共創センター

大学と地域や海外を結びつけるさまざまなイベントをお知らせしています

地域共創センター長
岩谷 智

新学期がはじまって2ヶ月になります。学部学科・学年に応じて皆さんがそれぞれに目指すところは異なると思いますが、大学の授業だけに集中するのではなく、少し視野を広げてみてはどうでしょうか。地域共創センターは地域や海外を大学の教育研究に結びつける活動を行っています。今後もボランティアや国際交流のイベントのお知らせをしていきますので、ぜひ積極的に参加してみてください。皆さんの成長が自分だけのものではなく社会のためにもなるということをきっと実感していただけたらと思います。



2019年3月韓国釜山女子大学研修集合写真

付属図書館

図書館の電子書籍が、学外からも利用可能に

付属図書館長
寺口 瑞生

図書館では紙の本だけでなく、電子書籍も所蔵しています。今春より、学外のパソコンやスマートフォン、タブレット端末からも図書館の電子書籍を閲覧できるようになりました。電子書籍のメリットは、①貸出冊数や図書館の閉館時間に関係なく利用できる②重い本を持ち歩く必要がない③全文や目次から検索できる④必要箇所だけ印刷ができることなどがあげられます。実習先での調べものや自宅での学習などにお役立てください。学外利用のための登録手続きは図書館のホームページのお知らせ欄をご参照ください。



タブレットで閲覧

情報処理教育センター

より良いネットワーク環境を整えるためにさまざまな取り組みを行っています

情報処理教育センター長
小野 淳

情報処理教育センターは、学内のコンピューターやネットワークなど情報システムの管理・運営を行っております。2018年度は、学生サービスの一環として、学生が多く集まる場所にWi-Fi(無線LAN)の環境を整えました。今後は、ネットワークの利用状況を確認して、Wi-Fi環境の拡大や、授業での活用を検討してまいります。また、2020年1月にWindows7のサポートが切れることに伴い、学内のWindows7コンピューターを順次更新予定です。今後とも、安全で安心な教育学習環境を構築するべく努めてまいります。



Wi-Fiを利用する学生(イメージ)

教職支援センター

子どもの力を引き出す 教員の育成

教職支援センター長
黒瀬 哲也

教職支援センターでは「自分の可能性を追求し、子どもの力を引き出す教員の育成」を目指しています。前年度は4名の現役生、2名の卒業生が自己の可能性を信じて努力を続け、教員採用試験に合格することが出来ました。4月からは、公立小学校・園の教諭として大阪府をはじめ京都府、熊本県などそれぞれの赴任地で子どもたちの指導に当たっています。今年度もさまざまな講座の充実や合宿、教材バンクの整備などに取り組み、学生の自ら学ぶ姿勢を支え、子どもの良さを見出して伸ばす素敵な先生たちを教育の場に送ります。



自習の様子

健康管理室

学生皆さんの心や体の悩みに 真摯に向き合いお応えします

学生生活を健康で快適に過ごせるように学生の皆さんの健康に関する相談窓口として、健康管理室があります。学生の皆さんが健やかな大学生活を送れるようサポートしています。定期健康診断は、病気の早期発見や健康状態を把握する目的のほか、臨地実習、就職、進学などで健康診断証明書が必要な場合にも利用されています。また、大学生時代は、色々なことを考え悩む時期であり、物事を感じやすい時期でもあります。もっとじっくり誰かに相談して、心の整理をしてみたい時やもう少し楽になりたい時には、専門のカウンセラーに無料で相談することができます。健康管理室で予約を受付けています。



健康管理室

アドミッションセンター

皆さんの協力やアドバイスが 大きな力となります

今年度より新たな職員をメンバーに迎え、アドミッションセンターは心機一転、学生募集にこれまで以上に邁進してまいります。若手メンバーが多い部署ですので、スピード感やアイデア力で高校生やその保護者に千里金蘭大学や各学科の魅力を十分に伝えられるようなオープンキャンパスやイベントを企画していきます。学生の皆さんにもご協力いただく事も多々あるかと思いますので、何卒よろしく願いたします。(オープンキャンパスの学生スタッフを大募集しています。)



オープンキャンパスの学生スタッフ

キャリアセンター

就職コーナーを拡充 さらにきめ細かな就職支援へ

2019年3月卒業生の就職率は食物栄養学科97.4%、児童教育学科100%、看護学科100%となりました。全体の就職率は、大阪府下の女子大学において、2011年度より6年連続1位となり、今後も学生へのきめ細かな就職活動支援を行っていきます。キャリアセンターでは、後援会事業の一環で3号館2階の就職関連資料コーナーを拡充しました。就職に関する資料などは、ここでも閲覧することができるので、昼食の際や帰る前に一度立ち寄ってみてください。また、就職に関してわからないことがあれば、いつでもキャリアセンターへお越しください。



リニューアルした就職コーナー

平成30(2018)年度学位授与式報告

3月15日(金)に、佐藤記念講堂において平成30(2018)年度学位授与式が執り行われました。始めに、食物栄養学科81名、児童教育学科47名、看護学科89名、計217名の卒業生を代表して各学科の総代が登壇し、島崎学長から学位記が授与されました。続いて、4年間を通じて最も成績が優秀であった学生に与えられる「商議員賞」、学業を含めスポーツや社会貢献に優れた活動に取り組んだ学生に対して与えられる「佐藤賞」、並びに関係団体各賞・記念品の授与が以下のとおり行われました。島崎学長からの式辞に続いて、芳友会・松下会長、後援会・溝端会長から祝辞をいただき、最後は門出の誓いとして、各学科の代表から、4年間学生生活を支えていただいた方々への感謝の気持ちと今後の抱負が述べられました。会場が拍手で包まれる中、晴れやかな姿の卒業生が退場し、学位授与式は無事終了いたしました。卒業生の皆さん、この度はご卒業おめでとうございます。皆さんの今後のご活躍を、本学教職員一同祈念いたします。



学科	食物栄養学科	児童教育学科	看護学科
総代・商業員賞	矢野 友香 さん	新名 美月 さん	赤松 美咲 さん
佐藤賞	足立 陽菜 さん	岸本 紗季 さん	上田 実穂 さん
関係団体各賞授与	三輪 順子 さん (全国栄養士養成施設協会)	岡本 真奈 さん (全国保育士養成協議会会長賞)	照屋 理子 さん (日本私立看護系大学協会)
	南 茉依 さん (日本フードスペシャリスト協会)		渡辺 真由 さん (大阪府看護協会会長賞)

平成31(2019)年度入学式報告

平成31(2019)年度入学式が4月2日(火)に佐藤記念講堂で執り行われました。食物栄養学科55名、児童教育学科67名、看護学科100名、計222名の新入生が、千里金蘭大学学生としての第一歩を踏み出しました。厳粛な雰囲気の中で式が挙行され、食物栄養学科・安達史果さん、児童教育学科・垣本真衣さん、看護学科・笹川綾乃さんによる新入生代表宣誓が行われました。続いて学長入学許可宣言、学長式辞があり、新入生たちは改めて気持ちを引き締めている様子でした。また、芳友会・松下喜代子会長並びに後援会・溝端由之会長より、励ましの祝辞をいただきました。当日は天候に恵まれ、桜も満開を迎える中、キャンパス内では新入生やそのご家族の晴れやかな笑顔であふれました。千里金蘭大学に入学されました新入生の皆さん、ご家族の皆さま、おめでとうございます。



学内施設紹介

食物栄養学科 給食経営管理実習室



スチームコンベクションオーブン（加熱機）やブラストチラー（急速冷却器）など、主に病院や学校で用いられるプロ仕様の環境で本格的な学内実習施設です。3年次の給食経営管理実習では、100人分の大量調理に挑戦します。



児童教育学科 子ども支援協働研究室 （プレイルーム）



2018年にリニューアルしました。たくさんの遊具や絵本が揃い、「金蘭おやこクラブ」「子育てひろばOh!キッズ」などが開催されます。地域に開かれた子育て支援スペースであり、模擬保育などを行う演習室でもあります。



看護学科 看護学実習室



看護援助の基本的な技術を学ぶための施設です。実際の病院と同等の設備を備えています。放課後や空き時間に予約して、実技テストの練習をすることもできます。



SNS

SNSでも大学生活の様子を発信！

各学科のブログなどで、授業やイベントの様子を発信しています。

食物栄養学科
Instagram



食物栄養学科
ブログ



児童教育学科
ブログ



看護学科
受験生応援ブログ



広報サークル
受験生応援ブログ



公式
Facebook



公式
Twitter



公式
Youtube



看護学科



小島 賢子教授

①博士(教育学) ②タッチケアを通じた子育て支援と虐待予防 ③小児看護対象論 ④子どもの未来と一緒にイメージしましょう。



本田 由美講師

①修士(看護学) ②看護技術教育 ③基礎看護技術演習I ④学生とともに、看護の学びを深めていきたいと思っています。



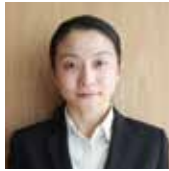
後藤 小夜子助教

①修士(看護学) ②老年看護学 ③老年看護援助論演習 ④老年看護学を通して人の営みについて共に考え成長していきましょう。



西田 紀子助教

①修士(看護学) ②食物アレルギー ③小児看護援助論演習 ④子どもの最善の利益が守る看護を一緒に考えましょう。



隍 智子助教

①修士(看護学) ②家族看護学 ③成人看護学 ④学生さんと一緒に学んで成長していきたいと思っています。



山之内 優子助手

①学士(社会学) ②成人の発達障害(精神看護学) ③実習 ④学習を深めながら、自らを知り他者と関わる中で共に成長しましょう。

後援会事業のご案内

千里金蘭大学後援会は、学生へのより良い教育の提供と学生生活環境の整備を行いたいという保護者の皆さまからの声のもと、保護者の皆さまと本学が相互一体となり、学生の修学及び課外活動助成並びに教育施設及び福利厚生施設の充実を図るべく、平成27(2015)年4月1日に発足されました。保護者の皆さまには、ご入会

を賜りましたことを厚くお礼申し上げますとともに、今後とも変わらぬご愛顧のほど、よろしく願いいたします。

◇ 後援会の主な事業内容等につきましては、ホームページをご覧ください。なお、平成31(2019)年度の事業内容は、年1回開催される総会において決定いたします。

<http://www.kinran.ac.jp/kouenkai/>

学園へのご寄付・ご支援について

昨年度(2018年度)は、本学園が設置する千里金蘭大学、金蘭会高等学校・中学校及び金蘭会保育園の将来を見据えた教育・研究活動の充実、保育活動の充実、課外活動の推進を図ることを目的として、寄付募集を行ってまいりました。制度の特徴として、使途区分を設け、より個人の寄付のご意思が反映されるようにいたしました。その結果、多くの皆さまからご賛同、ご協力を賜りましたことに、厚く御礼申し上げます。ご寄付を賜りました皆さまのご芳名、寄付の件数および総額に関しましては、学園ホームページに掲載しておりますので、ご覧ください。

<https://www.kinran.ac.jp/hojin/contribution/pdf/donors.pdf>

今年度(2019年度)は、前年度の募集内容に加えて、遺贈や古本募金を新たな制度として活用いただけるよう、検討しております。詳細につきましては、学園ホームページなどを通じて改めてご周知させていただきます。昨今の厳しい経済情勢の折柄、誠に心苦しいお願いとは存じますが、引き続き、ご賛同を賜りますよう衷心よりお願い申し上げます。

金蘭会学園 法人事務局 総務部
TEL.06-6872-7703 FAX.06-6872-7707

本学園ホームページご寄付のお願いURL

<https://www.kinran.ac.jp/hojin/contribution/>

年間スケジュール(前期)

2019

4月 2日(火)	平成31(2019)年度入学式	6月 8日(土)	後援会役員会及び総会	13日(火)	夏季一斉休業(8/13~8/15)
3日(水)	新入生オリエンテーション	16日(日)	初夏のオープンキャンパス	23日(金)	前期成績Web発表日
4日(木)	新入生オリエンテーション	7月 14日(日)	夏のオープンキャンパス	24日(土)	AO入試I期
5日(金)	新入生オリエンテーション	15日(月・祝)	祝日授業日	25日(日)	夏のオープンキャンパス
8日(月)	前期授業開始	26日(金)	前期最終授業日	9月 10日(火)	保護者宛成績発送日
28日(日)	春のオープンキャンパス	28日(日)	夏のオープンキャンパス	16日(月・祝)	AO入試II期
5月 2日(木)	学園創立記念日(114周年)	29日(月)	授業予備期間(7/29~8/2)	22日(日)	秋のオープンキャンパス
6日(月・祝)	祝日授業日	8月 5日(月)	専門科目、保育、教職科目調整期間(8/5~8/7)	23日(月・祝)	後期授業開始 祝日授業日
26日(日)	初夏のオープンキャンパス	10日(土)	夏のオープンキャンパス	28日(土)	保護者懇談会



千里金蘭大学 広報室

〒565-0873 大阪府吹田市藤白台5-25-1 tel.06-6872-7854

発行/令和元年(2019年)5月30日

大学web <http://www.kinran.ac.jp/> 受験生応援サイト <http://www.kinran.ac.jp/cheer/>

公式Twitter <https://twitter.com/senrikinranuniv>

公式Facebook <https://www.facebook.com/SenriKinranUniv/>

受験生応援ブログ <http://www.kinran.ac.jp/cheer/blog/>

編集後記

元号が令和となり、最初の学報です。学生それぞれが新しいステージに立ち、2ヶ月が経った今、自信や楽しいといった表情になってきています。今号では、各学科の取り組みや学生の活動を掲載しています。過去の学報は大学のホームページに掲載しておりますので、合わせてご覧いただければと思います。今後も、本学での学びを通して成長し、「私の成長、きっとだれかのために。」を体現する学生たちの姿を学報や各WEB媒体で取り上げて参ります。